※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新「数学Ｃ」　（数研出版）						
副教材等	３ROUND 数学Ｃ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ノートや授業プリントは定期考査前など定期的に提出します。丁寧に整理するようにしましょう。
提出物の期限は守り、定期考査・小テストは計画的に学習をして取り組んでください。
毎回の授業に集中して取り組みましょう。

2　学習の到達目標

ベクトル、複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトルの計算だけでなく、平面図形や空間図形の性質などをベクトルを用いて表したり、ベクトルで表された方程式の意味を図形に即して読み取ったりする技能を身に着けている。 二次曲線やサイクロイド曲線を媒介変数を用いた式で表したり，直交座標を極座標で表したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察できるようにする。 図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察できるようにする。 離散グラフや行列などの数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できるようにする。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。
評価方法	課題・提出物の状況、 ノート、プリント、 定期考査、小テスト、観察等	課題・提出物の状況、 ノート、プリント、 定期考査、小テスト、観察等	課題・提出物の状況、 ノート、プリント、 小テスト、観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	平面上のベクトル	ベクトル ベクトルの和 ベクトルの差 ベクトルの実数倍 ベクトルの成分 ベクトルの成分と演算 ベクトルの内積 内積の性質	a:平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの成分表示、内積及びその基本的な性質について理解している。 b:実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 c:ベクトルの基本的な概念に関心を持ち、事象の考察に活用しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート
	ベクトルと平面図形	位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	a: 位置ベクトルの基本的な性質について理解している。 b: ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見出し、多面的に考察することができる。 c:位置ベクトルの概念を利用して平面図形について考察しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート
	空間のベクトル	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分と演算 ベクトルの内積 位置ベクトル 空間図形への応用	a: 座標とベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 b: 空間図形の性質を見出し､多面的に考察することができる。 c:平面座標の概念を空間の座標に拡張させたり、ベクトルの概念を空間図形に用いたりしようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート
複素数平面	複素数平面	複素数平面 複素数の和と差 複素数の極形式 ド･モアブルの定理	a: 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び図形的な意味を理解している。ド・モアブルの定理について理解している。 b: 複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		複素数と平面図形	察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、複素数平面の考えを問題解決に活用しようとしている。			
式と曲線	2次曲線	放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線	a: 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること、それらの二次曲線の基本的な性質について理解している。 b: 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けてとらえ、考察することができている。 c:二次曲線の方程式とその概形について考察しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート
	媒介変数表示と極座標	曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピュータといろいろな曲線	a: 曲線の媒介変数表示について理解している。極座標の意味、曲線が極方程式で表されることについて理解している。 b: 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標の考えを問題解決に活用し、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察することができる。 c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、媒介変数や極座標の考えを問題解決に活用しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート
数学的	データ	パレート図	a: 日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフなど	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		バブルチャート	を用いて工夫して表現することの意義を理解している。 b: 図､表､統計グラフを用いて、日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、データを問題解決に活用しようとしている。			
	行列による表現	行列 行列の和と差 行列の実数倍 行列の積	a: 日常の事象や社会の事象などを、行列を用いて工夫して表現することの意義を理解している。 b: 行列を用いて､日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察することができる。 c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、行列を問題解決に活用しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート
	離散グラフによる表現	一筆書き 最短経路の問題	a: 日常の事象や社会の事象などを、離散グラフを用いて工夫して表現することの意義を理解している。 b: 離散グラフを用いて､日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察することができる。 c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、離散グラフを問題解決に活用しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト	提出ノート ワークシート
	離散グラフと行列の関連	離散グラフの隣接行列 経路の数え上げ				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度